

2020年12月 近鉄百貨店 売上速報

店舗別売上高対前年増減率(%)

	12月	
	売上高 ※1	(参考) 取扱高 ベース売上高 ※2
<b>あべのハルカス近鉄本店単独</b> (あべのハルカス近鉄本店 Hoop等を含む)	△19.0 (△18.9)	△21.9
上本町店	△14.2	△14.3
東大阪店	2.4	2.2
奈良店	△4.2	△4.5
橿原店	△8.8	△9.4
生駒店	△2.1	△1.6
和歌山店	△1.0	△1.3
草津店	4.4	5.6
四日市店	△4.4	△3.7
名古屋店(近鉄パッセ)	△42.3	△36.1
合計	△12.6	△14.5

※数値は速報値のため、確定値とは誤差が生じることがあります

※1 百貨店部分の売上高と専門店部分の賃貸収入を合計した売上高

※2 百貨店部分の売上高と専門店部分の取扱高を合計し売上高

【あべのハルカス近鉄本店の概況】

12月は、クリスマス・年末商戦において巣ごもり需要の高まりを受け、クリスマスケーキやおせちが堅調に推移したほか、初売りでの密回避のため年内販売を強化した福袋も好調に推移しました。また、引き続きインターネットショップも対前年約70%増と大きく売上を伸ばしました。

商品別では、高級時計や金製品など資産価値のある商品が好調だったほか、お家時間充実のため美容や健康に関連する商材もよく動きました。

売上高は、新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあり、引き続き外出自粛傾向が続いたことを受け、対前年19%減となりました。